

2025年2月17日

各位

保土谷化学工業株式会社

## アルミ着色用染料 製造設備の増強について

保土谷化学工業株式会社（本社：東京都港区、以下、保土谷化学）は、奥野製薬工業株式会社（本社：大阪府中央区、以下、奥野製薬）との共同開発によるアルミ着色用染料に関して、今後の需要拡大を踏まえた供給体制の増強計画の検討に着手いたしましたのでお知らせします。

軽量で耐食性および強度に優れ、リサイクルしやすいアルミニウムは、スマートフォンや電子機器などで広く利用され、そのカラーアルマイト染料の需要は拡大しております。また環境と人にやさしい染料として、重金属を用いずに優れた染色性を持つ「メタルフリー染料」のニーズが一層高まっていることから、保土谷化学の国内生産拠点における製造設備の増設を進めてまいります。

保土谷化学は、1927年に染料の製造を開始し、徹底した品質管理のもと、染料の基礎となる有機合成技術の開発を推進し、幅広い分野へ特徴ある製品を提供してまいりました。

奥野製薬は、表面処理薬品分野において国内トップシェアを誇り、最先端技術を導入するなどスピード感ある開発体制を有する技術開発型企業として、業界を牽引してまいりました。

両社は、1980年にアルミ着色用染料の共同開発を開始して以来、それぞれの強みを基盤に取り組みを進めてまいりましたが、今後は更なるシナジーを発揮するべく、より一層連携を強化することとしました。

耐光性・染色性が高く、多彩な色表現を可能とする従来のアルミ着色用染料のニーズの高まりに加え、2022年度より販売を開始した環境対応型（メタルフリー）アルミ着色用染料が堅調に伸長しています。環境保全に対する関心の高まりから、製造プロセスにおける排水等での環境負荷低減にも着目し、「環境に優しい」×「豊富なカラーバリエーション」の更なる組み合わせの妙で、今後も、両社にて、高耐光性を実現する高品質かつサステナブルな製品の開発ならびに市場への展開に取り組んでいく考えです。

なお、本件の取り組みは、保土谷化学の中期経営計画「SPEED 25/30」において、「2030年度のありたい姿」で掲げる事業強化に資する重要施策として、位置付けております。

以上